

第5次下松市行財政改革推進計画

令和2年度実績

令和3年9月

下松市企画政策課

1 はじめに

本市では、まちづくりの指針となる最上位計画である「下松市総合計画」において、様々なまちづくりの活動を通じて目指すべき将来都市像（目指す都市の姿）を『都市と自然のバランスのとれた住みよさ日本一の星ふるまち』と掲げています。この将来都市像を実現するためには、着実に健全な行財政運営が必要不可欠であることから、平成 31 年 3 月に「第 5 次下松市行財政改革推進計画（平成 31 年度～平成 33 年度）」（以下「行財政改革推進計画」という。）を策定しました。

本市における行財政改革は、これまで第 1 次から第 4 次にわたり、様々な取組を実施してきましたが、行財政改革推進計画では、限りある財源を最大限に有効活用し、多様化する行政ニーズに対応するとともに、市民により良い行政サービスを提供し、効果的な行政運営を行っていくことを目指して、歳出と歳入の両面から行財政改革の取組を推進することとしています。この行財政改革の取組を着実に推進するために、行財政改革推進計画に掲げる実施項目については、毎年度、実績や進捗状況等を検証し、進行管理を行っています。

このたび、行財政改革推進計画における計画期間の 2 年目となる令和 2 年度の進捗状況をまとめましたので、次のとおり報告します。

2 行財政改革推進計画の体系と進捗状況の概要

(1) 行財政改革推進計画の体系

行財政改革推進計画では、4 つの取組項目を基本的な体系とし、この取組項目の下に具体化した 18 の実施項目を位置付けて、行財政改革を推進することとしています。

(2) 進捗状況の概要

行財政改革推進計画の進行管理においては、18 の実施項目について、5 段階で評価しました。また、実施状況、取組成果、今後の展開・方向性を記載するとともに具体的に数値化が可能なものについては、効果額を記載しています。

令和 2 年度の進捗状況としては、18 の実施項目における各担当課の具体的な取組のうち、完了及び実施中の項目が 22 項目となっています。また、A：概ね計画通りの進捗である項目が 14（48.3%）、B：計画と比較し少し遅れている項目が 4（13.8%）、C：計画より大きく遅れている項目が 6（20.7%）、D：進捗がない項目が 5（17.2%）となっており、一定の取組の進展はあるものの、より一層の取組強化や取組内容の見直しを行いながら、引き続き、最終年度に向けて、行財政改革に取り組む必要があります。

また、取組に係る効果額（その他を含む）は、184,866千円となりました。

【表 1】

第5次下松市行財政改革推進計画 施策体系図

理念	意識の改革・制度の改革・財政の改革	
↓		
基本方針	自主・自立の行政運営の基盤づくり	
↓		
取組項目（4）	実施項目（18）	担当課
①事業の見直しと業務改革の推進	①時間外勤務縮減の推進 ②行政評価による事業の可視化 ③庁内ICT化の推進 ④統合型GISの整備 ⑤省エネルギー対策の推進 ⑥窓口業務の見直し	総務課 企画政策課 情報統計課 情報統計課 土木課 関係課
②簡素で効率的な組織体制の構築と人材の育成	⑦簡素で効率的な組織体制の再編 ⑧情報推進化に向けた人材育成 ⑨収納対策の機能拡充	総務課 総務課 税務課
③民間委託と市民協働の推進	⑩地域担当職員制度の導入 ⑪放課後児童クラブ（児童の家）の運営体制の見直し ⑫観光振興推進体制の構築 ⑬公民館の地元管理の推進 ⑭指定管理者制度の効果的な運用	地域政策課 子育て支援課 地域交流課 生涯学習振興課 関係課
④財政基盤の安定・強化	⑮給与制度の見直し ⑯資金運用手法の見直し ⑰市有財産の整理及び遊休財産等の有効活用 ⑱関係団体への補助金・交付金等の見直し	総務課 財政課・上下水道局 関係課 関係課

実施

改善

- 下松市行財政改革推進本部
- 下松市行財政改革推進計画進行管理者
- 行財政改革推進室



【表2】

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況一覧表 令和2年度実績

(単位：千円)

取組項目	No.	実施項目	評価	実施状況	効果額	担当課
①事業の見直しと業務改革の推進	1	時間外勤務縮減の推進	B	実施中	23,676	総務課
	2	行政評価による事業の可視化	C	実施中	-	企画政策課
	3	庁内ICT化の推進	C	実施中	-	情報統計課
			C	検討中	-	企画政策課
	4	統合型GISの整備	C	実施中	-	情報統計課
	5	省エネルギー対策の推進	B	実施中	-	土木課
6	窓口業務の見直し	D	検討中	-	税務課・保険年金課 等	
		D	検討中	-	情報統計課・企画政策課	
②簡素で効率的な組織体制の構築と人材の育成	7	簡素で効率的な組織体制の再編	A	実施中	-	総務課
	8	情報推進化に向けた人材育成	C	検討中	-	総務課・情報統計課
	9	収納対策の機能拡充	D	検討中	-	税務課
③民間委託と市民協働の推進	10	地域担当職員制度の導入	B	実施中	-	地域政策課
	11	放課後児童クラブ（児童の家）の運営体制の見直し	A	完了	-	子育て支援課
	12	観光振興推進体制の構築	A	完了	-	地域交流課
	13	公民館の地元管理の推進	D	実施中	-	生涯学習振興課
	14	指定管理者制度の効果的な運用	A	実施中	-	生涯学習振興課
			A	実施中	-	産業振興課・農林水産課
A	実施中	-	地域交流課			
④財政基盤の安定・強化	15	給与制度の見直し	C	実施中	-	総務課
	16	資金運用手法の見直し	A	実施中	-	財政課
			A	実施中	-	上下水道局
	17	市有財産の整理及び遊休財産等の有効活用	A	実施中	159,608	契約監理課
			D	検討中	-	子育て支援課
	18	関係団体への補助金・交付金等の見直し	A	実施中	-	財政課
			B	検討中	-	生涯学習振興課
			A	実施中	-	産業振興課・農林水産課
A			実施中	-	子育て支援課	
A			実施中	82	環境推進課	
A	実施中	-	地域政策課・地域交流課			
合 計					183,366	

◆その他

(単位：千円)

取組項目	No.	実施項目	評価	実施状況	効果額	担当課
独自の行財政改革の取組等	19	行政手続における書面規制・押印・対面規制の見直し	-	実施中	-	企画政策課
	20	民間助成金活用による事業の充実	-	完了	1,500	図書館

【表3】

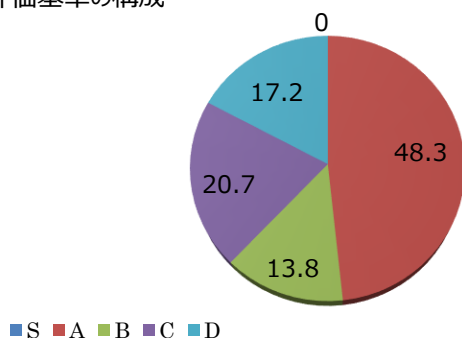
■取組項目別の実施状況

取組項目	完了	実施中	検討中	中止	計
①事業の見直しと業務改革の推進	0 (0.0%)	5 (62.5%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	8
②簡素で効率的な組織体制の構築と人材の育成	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	3
③民間委託と市民協働の推進	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7
④財政基盤の安定・強化	0 (0.0%)	9 (81.8%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	11
計	2 (6.9%)	20 (69.0%)	7 (24.1%)	0 (0.0%)	29

■取組項目別の評価結果

取組項目	S	A	B	C	D	計
①事業の見直しと業務改革の推進	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	8
②簡素で効率的な組織体制の構築と人材の育成	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	3
③民間委託と市民協働の推進	0 (0.0%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	7
④財政基盤の安定・強化	0 (0.0%)	8 (72.7%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	11
計	0 (0.0%)	14 (48.3%)	4 (13.8%)	6 (20.7%)	5 (17.2%)	29

評価基準の構成



■評価基準

凡例	基準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

取組項目 ① 事業の見直しと業務改革の推進

No.	1	担当課		総務課	
実施項目	時間外勤務縮減の推進				
取組内容	業務に要する時間の削減や業務工程の改善及び職員の意識改善により、時間外勤務の縮減を図る。				
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画	実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中		
	効果額	-	23,676千円		
R2 実績	評価	B	実施状況	実施中	効果額 23,676千円
	取組 成果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、イベントや各種会議等が中止となり業務が減少した一方で、国勢調査や特別定額給付金等の新型コロナウイルス対策事業による業務が増加した。単純に比較できない状況ではあるが、対前年比で時間外勤務10,264時間が減少した。			
今後の展開・方向性	引き続き「時間外勤務縮減の取組方針」に基づいた取組を行う。				

No.	2	担当課		企画政策課	
実施項目	行政評価による事業の可視化				
取組内容	総合計画を基本とした施策評価、事務事業評価に取り組み、より効率的な市政の運営を図る。				
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画	検討	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中		
	効果額	-	-		
R2 実績	評価	C	実施状況	実施中	効果額 -
	取組 成果	総合計画を基本とした施策評価、事務事業評価に取り組む足掛かりとして、当初予算要求において各課が作成する事業査定書（事業単位で概要、財源内訳等をまとめたもの）を通じて、事業の仕分けを引き続き実施した。			
今後の展開・方向性	事業の仕分けは進んでいるものの、施策評価や事務事業評価の導入にまで至っていないことから、新たな総合計画の施策事業のP D C Aを機能させるため、引き続き、事業査定書の活用を図りつつ、将来的な実施計画や予算編成へ反映させる仕組みを研究していくこととする。				

■ 評価基準

凡例	基準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		3	担当課		情報統計課	
実施項目		庁内 I C T 化の推進				
取組内容		タブレット端末の利用やグループウェアの導入などを推進し、事務事業の効率化を図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
年次計画		実施	➡		➡	
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	C	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	定型的な事務作業を自動化するAI-OCR及びRPA導入検討調査を実施するとともに、WEB会議用の端末を配備した。				
今後の展開・方向性		今後策定する本市の自治体DX推進計画の中で検討を行う。				

No.		3	担当課		企画政策課	
実施項目		庁内 I C T 化の推進				
取組内容		タブレット端末の利用やグループウェアの導入などを推進し、事務事業の効率化を図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
年次計画		実施	➡		➡	
進捗 状況	実施状況	実施中	検討中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	C	実施状況	検討中	効果額	-
	取組 成果	I C T を使った働き方改革の一環で、庁内の情報連携や業務効率化、テレワークの実現等に向けた取組として、ビジネスチャットツールの活用に向けて検討を始めた。				
今後の展開・方向性		市役所内における迅速な情報連携・共有、テレワークや災害時等の連絡手段として、ビジネスチャットツールの試験導入後の本格導入に向けて検討し、職員の働き方改革や業務の効率化の実現につなげる。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		4	担当課		情報統計課	
実施項目		統合型GISの整備				
取組内容		統合型GISを整備し、地図情報及び台帳情報を共有することで事務の効率化を図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	→	→		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	C	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	統合型GISをクラウド化するとともに、住宅地図を更新した。				
今後の展開・方向性		航空写真及び市域図の更新並びにハザードマップの追加を行う。また、GISを有効活用するために、システム自体の理解を目的とした職員向け説明会を開催する。				

No.		5	担当課		土木課	
実施項目		省エネルギー対策の推進				
取組内容		更新時期が到来した街路灯のLED化を順次実施し、電気使用量の削減や環境配慮の推進を図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	→	→		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	B	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	街路灯の更新時期が到来したものについて、順次LED化を実施することで、電気使用量の削減や環境配慮の推進を図った。令和2年度は37灯（スポンサー含む）をLED化し、電気使用量を削減した。（年度途中建替のため、対象年度の効果は翌年度以降） 令和2年度末で、街路灯総数1,068基のうち、167基（約16%）がLED化済となった。				
今後の展開・方向性		LED化する灯具は、省エネ効果の高い製品を採用するとともに、街路灯の撤去を含めた再配置を検討し、電気使用量の削減と環境配慮の推進を加速させる。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		6	担当課		税務課・保険年金課 等	
実施項目		窓口業務の見直し				
取組内容		定型的な業務の民間委託や各種申請手続きの可能な限りのワンストップ化を検討し、窓口業務の見直しを図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		検討	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	検討中	検討中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	D	実施状況	検討中	効果額	-
	取組 成果	税務手続や葬祭関係手続については、引き続き、極力来庁者を移動させないなど来庁者のワンストップ化に可能な限り取り組んだ。				
今後の展開・方向性		窓口業務を受け持つ関係課全体で協議を行い取り組んでいく必要がある。				

No.		6	担当課		情報統計課・企画政策課	
実施項目		窓口業務の見直し				
取組内容		定型的な業務の民間委託や各種申請手続きの可能な限りのワンストップ化を検討し、窓口業務の見直しを図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		検討	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	検討中	検討中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	D	実施状況	検討中	効果額	-
	取組 成果	市民サービスの向上や窓口体制等の整備（ICT化の推進）を図るのは業務所管課であることから、要望に対する支援を行うとともに、今後の社会情勢の変化等に合わせて、引き続き検討した。				
今後の展開・方向性		今後策定する本市の自治体DX推進計画の中で検討を行う。 また、行政手続に関する押印等の見直し指針に基づき、提出書類の削減やワンストップ化、書かない窓口化など行政手続のオンライン化に向けた取組を検討していくこととする。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

取組項目 ② 簡素で効率的な組織体制の構築と人材の育成

No.	7		担当課		総務課	
実施項目	簡素で効率的な組織体制の再編					
取組内容	様々な行政課題や市民のニーズに対応できる組織体制について、再編を図る。また、時期を熟慮し大規模な機構改革を検討する。					
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
年次計画	検討	➡	➡			
進捗状況	実施状況	検討中	実施中			
	効果額	-	-			
R2実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組成果	「暮らしの安全・安心対策の充実・強化」、「産官民による魅力あるまちづくりの推進」及び「健全な行財政運営の推進と多様化する行政課題への対応の強化」を図るため、令和2年11月に機構改革を実施した。				
今後の展開・方向性	引き続き、多様化する行政課題や市民ニーズに対応するための組織体制について検討する。					

No.	8		担当課		総務課・情報統計課	
実施項目	情報推進化に向けた人材育成					
取組内容	高度化する情報処理に対応するため、電算知識の習得に繋がる職員研修を計画し、庁内ICT化に対応した職員の育成を図る。					
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
年次計画	検討	➡	実施			
進捗状況	実施状況	検討中	検討中			
	効果額	-	-			
R2実績	評価	C	実施状況	検討中	効果額	-
	取組成果	庁内のICT化に対応する効果的な研修及び育成方法について、引き続き検討するとともに、情報統計課の職員については、職務に必要な専門的な研修を受講した。				
今後の展開・方向性	令和3年度中に研修を実施し、庁内ICT化の必要性の意識醸成を図るとともに、これからの市政を担う職員像の一つとして、ICTの利活用を戦略的に推進できる情報部門における人材育成の考え方を明らかにする必要がある。					

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.	9		担当課		税務課	
実施項目	収納対策の機能拡充					
取組内容	滞納者に関する債権管理情報の集約化を検討し、収納対策の機能強化を図る。					
年 度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
年次計画	準備		実施		➡	
進捗 状況	実施状況	検討中		検討中		
	効果額	-		-		
R2 実績	評価	D		実施状況	検討中	効果額 -
	取組 成果	他市の状況を調査したが、債権管理情報の集約については積極的な取組への検証に至らなかった。				
今後の展開・方向性	債権を管理している各課において適正に管理されている（収納率の目標化とその目標に向けた取組等）と思われるが、より一層の有効な債権管理の推進に向けて情報収集を継続する。					

取組項目 ③ 民間委託と市民協働の推進

No.	10		担当課		地域政策課	
実施項目	地域担当職員制度の導入					
取組内容	市内各地域の実情を把握しながら、地域の課題や問題を把握し、地域と行政運営を効果的に連動させるために、制度導入を段階的に進める。					
年 度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
年次計画	実施		➡		➡	
進捗 状況	実施状況	検討中		実施中		
	効果額	-		-		
R2 実績	評価	B		実施状況	実施中	効果額 -
	取組 成果	円滑な制度導入に向け、令和元年度から令和2年度にかけて対象地域や庁内で意見の調整を重ねてきたことにより、計画よりやや遅れたものの、令和3年5月に導入する準備が整った。				
今後の展開・方向性	制度開始後も地域・担当者・庁内の考えを十分聴き取りながら、より効率的で効果的な制度となるよう適宜要綱や運用の見直しを図っていく。					

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		11	担当課		子育て支援課	
実施項目		放課後児童クラブ（児童の家）の運営体制の見直し				
取組内容		有効かつ効率的な運営体制の構築を目指し、運営業務の民間委託を順次進める。				
年 度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
年次計画		準備	実施		➡	
進捗 状況	実施状況	完了	完了			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	完了	効果額	-
	取組 成果	放課後児童クラブの更なる質の向上と運営の安定化を図るため、令和2年度から全17クラブにおいて民間委託を開始した。				
今後の展開・方向性		事業者が有する専門的かつ高度な知識や経験を活用した研修体制の確立により、職員の更なる質の向上を図ることなどが期待できる。				

No.		12	担当課		地域交流課	
実施項目		観光振興推進体制の構築				
取組内容		民間主導の観光施策に転換し、観光振興推進の核となる組織体制を構築するため、団体事務局を民間へ移行する。				
年 度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
年次計画		準備	実施		➡	
進捗 状況	実施状況	実施中	完了			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	完了	効果額	-
	取組 成果	令和2年6月に下松市観光協会の事務局を市役所から下松商工会議所に移転した。また、移転後は、市から観光協会に補助金を交付し、当該補助金を基に、観光協会主導による全市的な観光振興を推進することとした。				
今後の展開・方向性		行政と民間が一体となった、より効率的、効果的な観光施策を実現するため、継続的な市と観光協会の連携強化を図る。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		13	担当課		生涯学習振興課	
実施項目		公民館の地元管理の推進				
取組内容		指定管理者制度の導入可能な公民館について、地元住民との協議を進める。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	検討中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	D	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	平成27年度から指定管理者制度を導入した深浦公民館以外の公民館についても、導入可能か検討しているが、地域団体による施設の管理運営を前提としているため、実現可能な公民館が見込めていない。				
今後の展開・方向性		深浦公民館の指定管理者の高齢化問題も含め、地域団体以外への指定管理も検討していく必要がある。				

No.		14	担当課		生涯学習振興課	
実施項目		指定管理者制度の効果的な運用				
取組内容		公の施設の適切かつ安定的な運営について、適時指定管理者が抱える課題や問題点を把握し、適切な管理運営を行う。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	文化会館については、指定管理者の専門性や管理運営のノウハウを活かし、市民サービスの向上と経費削減を図った。また、深浦公民館については、地元団体が指定管理者になることで、地域の特色やニーズに沿った管理運営を実現した。				
今後の展開・方向性		随時、指定管理者と課題や問題を共有しながら、市民サービスの向上や経費削減、地域ニーズへの対応につながるよう、施設の管理運営を引き続き行っていく。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		14	担当課		産業振興課・農林水産課	
実施項目		指定管理者制度の効果的な運用				
取組内容		公の施設の適切かつ安定的な運営について、適時指定管理者が抱える課題や問題点を把握し、適切な管理運営を行う。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	指定管理者との連絡・調整を密に行い、管理運営上の課題を整理改善するとともに 指定管理者の専門性や経験を活かした適正かつ効率的な施設管理に努めた。				
今後の展開・方向性		引き続き、適切で安定的な施設管理に努める。				

No.		14	担当課		地域交流課	
実施項目		指定管理者制度の効果的な運用				
取組内容		公の施設の適切かつ安定的な運営について、適時指定管理者が抱える課題や問題点を把握し、適切な管理運営を行う。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	体育施設については、四半期毎に連絡調整会議を開催し、市と指定管理者との情報共有や問題解決に連携して取り組んだ。また、観光施設についても、定例会を毎月開催するなど、緊密な連携体制を構築し、指定管理者の抱える問題等の把握、解決に努めた。				
今後の展開・方向性		引き続き、連携体制を維持するとともに、より効率的、効果的な運営の実現に取り組む。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

取組項目 ④ 財政基盤の安定・強化

No.	15	担当課		総務課		
実施項目	給与制度の見直し					
取組内容	社会経済情勢、国の給与制度、近隣自治体の情勢等を勘案し、給与水準の適正化を図るため、職員の給与制度の見直しを図る。					
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
年次計画	実施	➡	➡			
進捗状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2実績	評価	C	実施状況	実施中	効果額	-
	取組成果	策定した制度見直し案に基づき、職員団体と協議を行った。				
今後の展開・方向性	引き続き、職員団体との協議を図り、見直しを進める。					

No.	16	担当課		財政課		
実施項目	資金運用手法の見直し					
取組内容	資金運用に関する手法の研究及び体制の充実等を図り、財産の適正管理及び効率的な活用を図る。					
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
年次計画	実施	➡	➡			
進捗状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	7,296千円	-			
R2実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組成果	債券運用指針に基づき、資金運用（地方債の購入・売却）を行い、財産の適切管理及び効率的な活用を図った。				
今後の展開・方向性	基金の運用状況や利率の動向を注視しながら、債券運用指針に基づき、効果的な資金運用（地方債の購入・売却）に努める。					

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		16	担当課		上下水道局	
実施項目		資金運用手法の見直し				
取組内容		資金運用に関する手法の研究及び体制の充実等を図り、財産の適正管理及び効率的な活用を図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	従来、定期預金は短期（3～6カ月）で運用していたが、一部資金について、より有利な長期（1年～3年）の運用に変更し、状況に応じた効率的な資金運用に努めた。				
今後の展開・方向性		資金残高、資金収支状況等を踏まえ、債券運用（地方債購入等）についても検討したい。				

No.		17	担当課		契約監理課	
実施項目		市有財産の整理及び遊休財産等の有効活用				
取組内容		市有財産の効率的な管理及び運用並びに売却等による経費削減及び収入確保を図るため、遊休財産等の売却・利活用を積極的に推進する。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	159,608千円			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	159,608千円
	取組 成果	笠戸島ハイツ跡地活用については、既存建物を残して活用する案も可能として公募型プロポーザルを実施したが、事業者決定に至らなかった。市有地売却については、中部区画整理地区内の土地について、入札により11区画（2,147.5㎡）を売却した。				
今後の展開・方向性		笠戸島ハイツ跡地活用事業については、既存建物を解体し、更地にして再度事業者を募集することとし、既存建物の解体を進めている。行政財産としての活用見込みがない財産は、今後も売却を進めていく方針である。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		17	担当課		子育て支援課	
実施項目		市有財産の整理及び遊休財産等の有効活用				
取組内容		市有財産の効率的な管理及び運用並びに売却等による経費削減及び収入確保を図るため、遊休財産等の売却・利活用を積極的に推進する。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	検討中	検討中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	D	実施状況	検討中	効果額	-
	取組 成果	花岡公民館講堂改築工事が完了するまでの期間は、公民館の備品保管場所等として旧花岡保育園を使用することとしており、米川児童館については、地元団体の活動に必要な物品保管場所として貸出しをした。				
今後の展開・方向性		旧児童福祉センター、旧花岡保育園、米川児童館の解体等のスケジュール及び具体的な利用方法については、住民ニーズ等を踏まえ、全庁的に検討する必要がある。				

No.		18	担当課		財政課	
実施項目		関係団体への補助金・交付金等の見直し				
取組内容		各団体等の事業内容、決算状況等を精査したうえで、必要性や金額について見直しを図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	可能な限り一般財源ベースで対前年度7%カットで予算要求するよう各課に通知を行った。補助金・交付金等の方針に基づき、各所管課において関係団体との聴取の上、補助金等の交付を行った。				
今後の展開・方向性		各所管課に対し、事業目的や事業内容の精査、補助金等の必要性や効果の検証を行うとともに関係団体との協議を行うなど、見直しに積極的に取り組むことを求める。また、補助金・交付金等の方針に基づき、各所管課において関係団体との聴取の上、補助金等の交付を行う。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		18	担当課		生涯学習振興課	
実施項目		関係団体への補助金・交付金等の見直し				
取組内容		各団体等の事業内容、決算状況等を精査したうえで、必要性や金額について見直しを図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	検討中	検討中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	B	実施状況	検討中	効果額	-
	取組 成果	社会教育関係団体への補助金の適正化を図るため、各団体等の事業内容、決算状況等を精査した上で、補助金額を見直すことを検討した。				
今後の展開・方向性		令和3年度に、補助金額を見直し、一律で約5%の削減を実施することとしている。引き続き、補助金のあり方も含め、その見直しを行っていく。				

No.		18	担当課		産業振興課・農林水産課	
実施項目		関係団体への補助金・交付金等の見直し				
取組内容		各団体等の事業内容、決算状況等を精査したうえで、必要性や金額について見直しを図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	補助金交付団体への補助金等の適正化を図るため、各団体の事業内容や決算状況等を精査した上で、予算要求を行った。				
今後の展開・方向性		引き続き、事業内容、決算状況等を精査するとともに、各団体との情報共有等を密にし、補助金等の必要性や金額について適正化に努める。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.		18	担当課		子育て支援課	
実施項目		関係団体への補助金・交付金等の見直し				
取組内容		各団体等の事業内容、決算状況等を精査したうえで、必要性や金額について見直しを図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	4,975千円	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	私立保育所運営費補助金については、令和元年度に大幅な補助単価の見直し（減額）を行い、令和2年度において各保育所と協議を重ね、令和3年度からの補助単価についても見直し（減額）を行うこととした。				
今後の展開・方向性		私立保育所運営費補助金については廃止を検討する。また、認可外保育施設入所児童保育料補助金については、待機児童の発生状況等を踏まえ廃止を検討する。				

No.		18	担当課		環境推進課	
実施項目		関係団体への補助金・交付金等の見直し				
取組内容		各団体等の事業内容、決算状況等を精査したうえで、必要性や金額について見直しを図る。				
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画		実施	➡	➡		
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	82千円			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	82千円
	取組 成果	補助金交付団体への補助金等の適正化を図るため、各団体の事業内容や決算状況等を精査し、補助金の見直しを実施した。 下松市地球温暖化対策地域協議会補助金（300千円→270千円）、下松市快適環境づくり推進協議会補助金（900千円→850千円）、周南地区食品衛生協会補助金（25千円→23千円）				
今後の展開・方向性		必要性があれば、随時見直したい。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

No.	18	担当課		地域政策課・地域交流課		
実施項目	関係団体への補助金・交付金等の見直し					
取組内容	各団体等の事業内容、決算状況等を精査したうえで、必要性や金額について見直しを図る。					
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
年次計画	実施	➡	➡			
進捗 状況	実施状況	実施中	実施中			
	効果額	-	-			
R2 実績	評価	A	実施状況	実施中	効果額	-
	取組 成果	関係団体等への補助金の適正化を図るため、各団体等の事業内容、決算状況等を精査した上で予算要求、執行を行った。				
今後の展開・方向性	事業内容等の精査により、適正な補助を継続するとともに、状況の変化に応じて速やかに見直しを行うよう努める。					

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗状況個別表 令和2年度実績

その他（独自の行財政改革の取組等）

No.	19	担当課		企画政策課	
実施項目	行政手続における書面規制・押印・対面規制の見直し				
取組内容	行政手続における申請書等の押印等の見直しや記載内容・添付書類について省略・廃止を行うことにより、デジタル化に対応した行政手続の簡素化を推進し、市民の利便性向上と負担軽減を図る。				
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画					
進捗状況	実施状況	-	実施中		
	効果額	-	-		
R2実績	評価	-	実施状況	実施中	効果額 -
	取組成果	令和3年2月に策定した「行政手続に関する押印等の見直し指針」に基づき、市独自に見直し可能な行政手続における押印等の必要性を精査し、特別な理由があるものを除き、押印等の廃止を令和3年4月1日から実施することとした。その結果、市民等に押印を求めている手続のうち約92%を見直すこととし、併せて市内部の事務についても一部実施した。			
今後の展開・方向性	国の法令等により求められている押印等の見直しについて、国等の動向を踏まえながら、引き続き実施していくこととする。また、行政手続のオンライン化に向けて、書面規制・対面規制の見直しの検討を進め、市民の負担軽減と利便性の向上につなげる。				

No.	20	担当課		図書館	
実施項目	民間助成金活用による事業の充実				
取組内容	多様な財源確保を推進するため、国県補助金や民間助成金制度の選択と有効活用により、事業の充実を図る。				
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
年次計画					
進捗状況	実施状況	実施中	完了		
	効果額	5,720千円	1,500千円		
R2実績	評価	-	実施状況	完了	効果額 1,500千円
	取組成果	一般財団法人地域活性化センターの令和2年度「地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業」助成金を活用し、リーフレット「下松で古地図さんぽ」2種類を各50,000部作成した。このリーフレットを活用して、古地図ガイドウォークや講座を開催した。			
今後の展開・方向性	今回作成したリーフレットが下松の魅力発信や、市民がまちの魅力を再発見するきっかけになるように、公民館、市観光協会、学校等と連携しながら、活用促進を図る。				

■評価基準

凡例	基 準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている（努力・工夫が必要）
C	計画より大きく遅れている（改善が必要）
D	進捗がない（未着手を含む）